

2025年度 マテリアリティ・サステナビリティ目標

評価
○: 目標達成(100%以上)
△: 目標達成度が80~99%
×: 目標達成度が79%未満

マテリアリティ (テーマ)	マテリアリティ (要素)	No.	目標	対象拠点※1	2025年度実績	評価
地球環境 との調和	環境負荷低減	1	温室効果ガスの排出削減 2050年カーボンニュートラルを目指し、 2030年CO2排出量総量25%削減(2018年比)	連結	2025年全社CO2排出量実績(2026/2/4時点、第三者保証取得前): 1,909千tCO2(2018年比37%削減)。主に再生可能エネルギーの活用、 燃料転換等を実施。	○
		2	NOx排出量:3,330t/年以下(2021年対比2%削減) SOx排出量:17,670t/年以下(2021年対比5%削減) 揮発性有機化合物(VOC):265t/年以下(2022年対比5%削減)	連結※2	NOx排出量:2,655t、SOx排出量:11,779t、VOC:181t	○
		3	汚染の削減 環境クレームゼロ(大気、水質など)	連結	重大な環境クレーム2件発生。2件とも水質案件で、抜本的対策を検討 中。(2026/3/3時点)	×
		4	製品輸送時パッケージの40%を2025年末までに環境配慮型に変更	TCX	Tokai COBEXで使用している全製品輸送時パッケージのうち42%を環 境配慮型に変更し、目標達成。	○
	5	水使用量の削減 水使用量890万m3/年以下(2021年対比使用量1%削減)	連結※3	2025年水使用量:750万m3	○	
	循環型社会の実現	6	廃棄物の再資源化 リサイクル率51%以上(2021年対比1%向上)※5	連結※4	リサイクル率:68.5%	○
		7	持続可能な資源の活用 rCB※6二次処理パイロットプラントを2027年末までに稼働させる	CB事業	一部大型設備工事発注完了、2026年より着工。	○
事業を 通じた 社会課題 への貢献	技術革新への挑戦	8	環境負荷低減テーマ向けの開発費用の割合90%以上	国内グループ	環境負荷低減テーマ向けの開発費用の割合96%	○
		9	環境負荷低減テーマ向けの開発費用の割合80%以上	東海高熱工業	環境負荷低減テーマ向けの開発費用の割合74%	△
		10	環境負荷低減関連の特許出願数90%以上	国内グループ	環境負荷低減関連の特許出願の割合100%	○
		11	環境負荷低減関連の特許出願数70%以上	東海高熱工業	環境負荷低減関連の特許出願の割合100%	○
	安全・安心な製品の供給	12	製品の品質向上 重大な品質クレームゼロ	連結	重大な品質クレーム0件	○
	サプライチェーンマネジメント	13	サプライヤーのCSRリスク低 減 重要サプライヤーへのCSR調査実施	連結	主要海外子会社(合算ベース)における重要サプライヤー11社に対し CSR調査を実施済み。	○
	人権の尊重	14	従業員の 人権に関する意識向上 単体および国内外グループ会社の人権DD実施	連結	単体および国内外グループ会社を対象に2025年度の人権DD実施済。	○
コミュニティへの貢献	15	地域貢献活動への積極的関与 地域貢献活動の開示充実	連結	寄付金および活動費総額:約4,440万円(神社や祭事への寄付、地域の 文化・スポーツ・教育支援のための寄付等) 地域貢献活動:清掃活動、食糧寄贈、学生の企業訪問受入等	○	
経営基盤 の強化	コーポレートガバナンスの強化	16	内部統制の継続的な改善・強化	連結	内部統制システムの運用状況の評価、報告を計画通り実施。	○
		17	当社グループ全体としての情報共有基盤の展開		長期ビジョン等のグループ全体の情報共有にグループポータルサイトを 活用。	○
		18	製品安定供給のための原材料調達検討・モニタリング(地政学リスク)		地政学リスク等に関する情報を継続的に収集。また、各事業の原材料調 達代替先検討状況をリスク・コンプライアンス委員会へ報告。	○
		19	海外危機管理体制の整備(継続)		海外危機管理マニュアルおよび退避計画策定・更新。海外有事発生を 想定した机上訓練を実施。	○
	コンプライアンスの徹底	20	重大な影響を及ぼす法令違反件数ゼロ	連結	2025年5月に発生した個人情報漏洩案件に対し行政指導を受けた。個 人情報取扱規程および規則を改定し再発防止策策定済み。	△
		21	内外子会社コンプライアンス体制の実態を踏まえた、各子会社担当者との コミュニケーション及び連携強化		グループポータルサイトを活用したコンプライアンス情報展開。内部通報 制度活用を通じたグループコンプライアンス体制強化。	○
	人材の育成	22	女性社員の管理職比率を2024年:3.8%から2027年までに5.6%以上に引 き上げる	単体	2025年12月末時点の女性社員の管理職比率は3.5%(分母増加により 昨年比低下)。	△
		23	単体の総合職新卒女性社員の採用比率 30%	単体	2026年4月入社単体新卒女性社員の採用比率:17.6%	△
		24	子育てや介護の必要な社員が働きやすい職場環境の構築	単体	育児・介護と仕事の両立支援に関する制度拡充、研修の実施により全事 業場の職場環境改善に務めた。	○
		25	従業員満足度の向上 エンゲージメントスコア向上(前回スコア比)	単体	2025年エンゲージメントスコアは前回比向上し、目標達成。	○
26	研修の効果的な実施 本社企画研修の総時間数(新入社員研修/専門研修)	国内グループ	2025年専門研修総時間:1,335h、新入社員研修総時間:2,294h	○		
労働安全衛生の推進	27	労働災害の低減 度数率の低減(度数率1.10以下)	連結	度数率:0.70	○	

※1 国内グループとは、単体+主要国内子会社(東海高熱工業、東海ファインカーボン、東海マテリアル)。但し、No.8,10は東海高熱工業を除く。
 ※2 NOx対象:単体+海外7社(Tokai ErftCarbon GmbH, Tokai Carbon GE LLC, Tokai Carbon CB Ltd., Cancarb Limited, Thai Tokai Carbon Product Co.,Ltd., Tokai COBEX Polska sp. z o.o., Tokai COBEX Savoie SAS)、
 SOx対象:単体+海外6社(Tokai ErftCarbon GmbH, Tokai Carbon GE LLC, Tokai Carbon CB Ltd., Thai Tokai Carbon Product Co.,Ltd., Tokai COBEX Polska sp. z o.o., Tokai COBEX Savoie SAS)、
 VOC対象:単体+海外4社(Tokai Carbon GE LLC, Tokai Carbon CBLtd.,Tokai COBEX Polska sp. z o.o., Tokai COBEX Savoie SAS)
 ※3 単体+国内外9社(Tokai ErftCarbon GmbH, Tokai Carbon GE LLC, Tokai Carbon CB Ltd., Cancarb Limited, Thai Tokai Carbon Product Co.,Ltd., 東海ファインカーボン, Tokai Carbon Korea, Tokai COBEX Polska sp. z o.o., Tokai COBEX Savoie SAS)
 ※4 単体+国内外11社(東海高熱工業,東海ファインカーボン,東海マテリアル, Tokai ErftCarbon GmbH, Tokai Carbon GE LLC, Tokai Carbon CB Ltd., Cancarb Limited, Thai Tokai Carbon Product Co.,Ltd., Tokai Carbon Korea, Tokai COBEX Polska sp. z o.o., Tokai COBEX Savoie SAS)
 ※5 リサイクル率(%)=リサイクル重量(廃棄物の再資源化重量)÷廃棄物の発生重量×100
 ※6 rCB(recovered Carbon Black):使用済タイヤ等のゴムを含む高分子製品から取り出された再生カーボンブラック